

メッセージ題「祝福の源となる」 <先週の講壇より>

「わたしはあなたを大なる国民にし、あなたを祝福し、あなたの名を高める。祝福の源となるように。」創世記 12:2

アブラム(後のアブラハム)は、人生のどん底で神様と出会い、悲しみも痛みも罪も乗り越えて、神様の約束の通りに全世界の祝福の源となりました。

8月15日といえば、終戦記念日です。日本のクリスチャン作家として最も有名な三浦綾子さんは、自叙伝『道ありき』の中に、その当時の心の動きを記しています。小学校の教諭として教壇に立って軍国主義を子供を教えていた戦時中、そして敗戦後に全く違う教えをしなければならなくなったという戸惑い。そして彼女はそんな自分に耐え切れず、教師を辞め、自暴自棄な生活を送るようになります。そんな時に会った人たちを通してクリスチャンになり、小説を書いて福音を宣べ伝える人となりました。

アブラム、そして三浦綾子さんにも与えられた、神様による救いの御業。それは本人を祝福するにとどまらず、祝福の源へと変えていったのです。その約束は、あなたにも与えられています。



オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ

#### 《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、天にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

#### 《 使 徒 信 条 》。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体よみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

#### 「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

# 2021年8月22日

## オレンジ郡 キリスト教会

礼拝：9時半～  
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827-6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



#### 【教会年間聖句】

「あなたがたは、いのちの言葉を堅く持って、彼らの間で星のようにこの世に輝いている。」

ピリピ2：15

#### ☆集會案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40  
ブレイク : 10:45-11:00  
バイスタ : 11:00-12:00  
みふみ会 : (水) 10:00-  
定例祈禱会 : (水) 18:30-

